2023 年 7 月 20 日

学生の皆さま

学修における生成 AI の利活用に関するガイドライン

学長

金沢星稜大学は、ChatGPT のような文章や画像等を生成する AI（「生成 AI」）を学修において利活用する際のガイドラインを示します。

（生成ＡＩの利点）

生成 AI（Generative AI）とは、文章、画像、音声、プログラムコードなどさまざまなコンテンツを生成する学習能力がある人工知能のことをいいます。生成 AI を上手に利活用すれば、指示文（プロンプト）の工夫でより確度の高い結果が得られますし、そうすれば、ブレインストーミング、論点の洗い出し、情報収集、文章校正、翻訳やプログラミングの補助、等の場面で主体的な学びを支援してくれることでしょう。

（生成ＡＩへの懸念）

しかしながら生成 AI は発展途上にあり、利便性のある反面、次のような懸念も指摘されています。

・生成された内容に虚偽が含まれている又はバイアスがかかっている等の信頼性に関する懸念。
・機密情報や個人情報の流出・漏洩等の可能性および著作権侵害の懸念。
・AI がどのようなデータを学習しているか、どのようなアルゴリズムに基づき回答しているか等が不明であり透明性に関する懸念。

また、生成 AI が既存の情報に基づいて容易に回答を提供するため、学修者に対して批判的思考力の鈍化、創造性の制約、学修意欲や探究心の低下といった影響が生じることも懸念されています。

（学修で生成ＡＩを利活用する際の留意事項）

１．論文やレポート等を生成 AI のみを用いて作成しないこと

・本学の学修は学生の主体的学びを促すことを根本としていますので、生成 AI の出力をそのまま論文やレポート等の成果物として作成することは不適切です。もし、生成 AI の出力に著作物の内容がそのまま含まれていた場合、これに気付かずに当該出力をレポート等に用いると、意図せずとも剽窃に当たる可能性があります。

・担当教員等の指示により、部分的に生成 AI の生成した文章や画像等を利用することが認められている場合は、一般的な引用のルールと同様、AI により生成した範囲を示し、利用した生成 AI の種類とバージョン、日付を明記してください。

２．出力された情報の正しさおよび内容の妥当性を自分で確認し裏付けをとること。

・生成 AI によって出力された情報にはその信頼性に限界があります。たとえ情報収集で使用する場合でも、出力された内容が正確な情報かどうか、自分で確認するようにしましょう。

・情報源がわかった場合は、その出典や引用元を明記してください。

３．個人情報や機密情報等の流出・漏洩等に十分注意すること。

生成 AI への入力を通じ、個人情報や機密情報等が意図せず流出・漏洩する可能性等があります。そのため次の点を遵守してください。

・生成 AI に指示文（プロンプト）を入力する際は、個人情報やプライバシーに関する情報を入力しないようにしましょう。

・AI が生成した回答に個人情報やプライバシーに関する情報が含まれている場合には、その回答の利用は差し控えるようにしましょう。

４．AI 利用者として著作権侵害とならないよう十分注意すること。

AI を利用して生成した文章や画像等には、他者の著作物や制作物が含まれており、著作権侵害や剽窃にあたるリスクをはらんでいます。それら著作物に係る権利を侵害しないよう慎重に取り扱いましょう。

（付記）

生成 AI の技術は日々進化しており、その可能性は探求され始めたばかりです。本学においては、生成 AI に関する今後の動向を注視するとともに、皆さんの学修における適切な利活用のあり方等について引き続き検討を進めてまいります。上記のガイドラインについても随時更新していきます。